

伊賀市社会事業協会

2022

2022年1月31日 第40号

発行者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

理事長 藪内 勝

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2

TEL:0595-21-5545

FAX:0595-23-6670

URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

上野点字図書館50周年

触読

伊賀市盲人ホーム60周年

盲養護老人ホーム梨ノ木園50周年

治療室の様子

特別養護老人ホーム第二梨ノ木園40周年

身体障害者支援施設梨丘園20周年

ご挨拶

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会

理事長 藪内 勝

輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は法人の福祉事業に対しまして、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、昨年はコロナ禍の中、伊賀市盲人ホーム60周年、上野点字図書館、盲養護老人ホーム梨ノ木園50周年、特別養護老人ホーム第二梨ノ木園40周年、身体障害者支援施設梨丘園20周年を迎えることができました。これまでご支援ご協力いただきました皆様のおかげと感謝申し上げます。

盲人ホームは、昭和36年にマッサージ師・はり師・きゅう師などの資格をお持ちの視覚障害者の方が、自立開業するまでの期間、自立支援と技術指導を行なう施設として、旧上野市より受託いたしました。以来、ご利用される皆様の声を聞かせていただき、昭和46年に視覚障害者の情報提供を目的とした上野点字図書館を開館、高齢になられた方の施設として、盲養護老人ホーム梨ノ木園を開園いたしました。法人の取り組む障害者福祉、取り分け視覚障害者福祉への道筋をつけた施設です。

当法人は今後も、障害者・児童・高齢者の福祉により一層邁進してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地元出身 千代の国関が

来てくれました！

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

九州場所が終わった直後の12月1日、地元伊賀市出身の力士である千代の国関が施設を訪問してくださいました。

146kgの関取の大きさに圧倒されましたが、優しいオーラに包まれた姿にご利用者もときめきを隠せませんでした。

ご利用者からの「子供さんはいくつになられましたか」という質問に、千代の国関の表情が一段と緩み、職員もキュンとなりました。

「まだまだ上を目指して精進します」という関取の言葉に、テレビやラジオで相撲を観戦するご利用者の応援にも一層力が入ることでしょう。



質問に笑顔で答える千代の国関



手作り神輿「わっしょい わっしょい」



迫力ある鬼に大興奮



シャンシャン傘娘、集合

おもいつきり笑った

往古梨まつり

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

青空が広がった11月3日、ご利用者に「とにかく楽しんでいただきたい」という思いを込めて、職員が上野天神祭を模したアトラクションを披露しました。

一番手に威勢よく登場してきたお神輿に拍手喝采、笑いとお歓声に包まれました。続いて現れた鬼行列では「怖い、ほれ鬼来たー」と身体を寄せ合いながら覗き込むご利用者。最後は女性職員によるシャンシャン傘の舞、「わー、かわいい」と一気に会場が華やかになりました。

ご利用者からは「ええのを見せてもらって元気でたわあ」と最高の賛辞をいただき職員も感無量、笑顔が溢れた秋の一日でした。

読みたい本が見つかる

デイサービス！

老人デイサービスセンターなしのき

ご利用者の皆様に余暇時間を有意義に過ごしていただくために、法人内の職員から本を譲ってもらい、センターの片隅に図書コーナーを設置しました。

本棚には小説や図鑑、趣味の本など、さまざまなジャンルの本が約700冊並んでいます。

本好きの方にとって、ソファにもたれてゆったりと本を読む時間ほど、贅沢なひとときはありません。

何歳になっても学び続ける姿勢、知りたいという欲求にお応えするため、更に蔵書を充実させていきたいと考えています。



今日はどんな本を読もうかな

祝
開園20周年!

身体障害者支援施設 梨丘園

梨丘園は平成13年に開園、昨年20周年を迎えることができました。オリンピッククイヤーということもあり「20th R・R・K・Y・U」と題し、施設でオリンピックを開催しました。

手作りトーチでの聖火リレーでは、最後のランナーが聖火台に点火すると一斉に大きな拍手が沸き上がりました。

競技種目のバスケットボールでは、狙いを定めて職員の持つカゴを目掛けてシュート！作戦を練り白熱した試合が繰り広げられました。



トーチからトーチへ聖火をつなぐご利用者

開館50周年を記念して

すべての人に読書の楽しみを

上野点字図書館

上野点字図書館は1971年（昭和46年）4月に開館し、おかげさまで50周年を迎えることができました。これまで当館を支えてくださった多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

当館では、このたび周年記念として以下の事業に取り組みました。

（記念品の送付）

オリジナル手ぬぐいを作成し、ご利用者をはじめ、ボランティアや関係機関の皆さまに送付。

（パネル展の開催）

上野点字図書館の事業と所蔵資料を紹介するパネルを、上野郵便局・上野図書館・伊賀市役所で展示。

（年表の作成）

保存資料から50年のあゆみを振り返り、今後の活動につなげるための年表を作成し、記念品と合わせて送付。

これからも、すべての人に読書の楽しみを“お届けすることができるよう、事業を展開してまいります。



点字の五十音図を染めた手ぬぐい（記念品）

障害福祉サービス事業所 かの木ひろば

かの木ひろば大運動会

昨年の秋、ご利用者に楽しく身体を動かしていただく「大運動会」を開催いたしました。選手宣誓から元気いっぱいの声で開幕し、様々な競技を行いました。

各チーム対抗のリレー競技になると、「早よ！早よ！」と普段とは違う声と、鋭い眼差しで真剣そのものでした。自分の体よりも大きな

「大まり送り」では、勢いよく観覧席にもボールが転がっていき、笑いながらボールを転がしていました。

勝ったチームも負けたチームも、体を動かした爽快感を感じて、みなさん笑顔で運動会を終えることが出来ました。



大まり送り
～おっとっと、そっじゃないよ～

待ちに待ったお買物

2度目の緊急事態宣言が解除され、伊賀市のコロナ感染状況が落ち着いていた11月、梨ノ木園ご利用者の同行支援が再開しました。ヘルパーがお迎えにあがるとHさんは「楽しみにしてたよ。今日は冬のカーディガンと靴下が欲しいわ。」と久しぶりの外出をとて楽しみました。

また、長年ご利用のSさんは「コロナがなかった頃みたいに、また美味しいもん食べに行きたいな」と外食の再開を待ちわびていました。2時間という短い時間の中でしたが皆さんそれぞれの買い物や外出を楽しまれました。



トートバック選びを楽しむご利用者

『子どもの豊かな育ちを

支える保育環境を考える』

『あー楽しかった!』の毎日を保育の根っこに

友生保育園

11月16日(火)、三重県社会福祉協議会主催の公開保育が行なわれました。戸外で秋の自然にたつぷりと触れながらのびのびと遊ぶ姿など日常の様子を見ていただきました。子どもたちは、いつも通りの時間が流れる中、参加者の方々に気づくことなく、笑顔いっぱい友だちや保育士と一緒に遊ぶ姿がありました。参加者の方からは、「子どもたちがそれぞれにやりたい事・目的をしっかりと持って遊んでいる姿に感動しました」「子どもたちを中心とした環境作りの大切さ、それを継続することの大切さを感じました」など、たくさん感想をいただきました。引き続き、子どもたちの『自ら育つ力』をしっかりと支えていけるよう、子どもを中心においた保育環境を考え実践していきたいと思えます。そして、子どもたちが保育の根っこになるように取り組みを続けていきたいと思います。



銀杏吹雪を降らせて遊ぶ子どもたち



どろだんご作りに夢中

大好きなお店屋さんごっこ

睦保育園

子どもたちは、家庭や園生活での経験を再現し、毎日いろいろなやり取りを楽しんでいます。今年の夏祭りでは、大好きな日々のあそびを取り入れ、年長児が作ったドーナツやクレープを使ってカフェコーナーをオープンさせました。この経験から発想はさらに膨らみ、秋の「むつみまつり」では、みんなでお店屋さんごっこをしました。「たこ焼きやお好み焼きも作ろう」「クレープはトッピングをお客さんを選んでもらおう」と相談し、たくさんのお店ができました。小さい子も一緒に「いらっしやいませ」と店員になったり、おいしそうに食べる真似をしていました。子ども同士で考え合って作り上げていく姿を見ると、これからも子どもたちの無限の可能性を信じ、日々ワクワクできる環境を作っていききたいと思います。



たこ焼き、やけたよ!



「むつみまつり」で屋台ごっこ

新しい保育園 楽しみだな

いなこ保育園

いなこ保育園は、2021年4月、伊賀市立依那古保育所と依那古第2保育所が統合し、伊賀市より当法人に移管されました。

『子どもが楽しみに通い、やってみたいを叶える保育園』を目指し、出発してもうすぐ1年。今、園舎を新築中です。1年後の2023年1月に、新しい園舎ができるのを子どもたちも職員も楽しみにしています。そのイメージ図を見て、「かわいい、楽しみ」早くできひんかな」とみんなの期待は大きいです。年長児は、卒園してしまうので残念ですが、隣接している小学校へ通うので、いつでも遊びに来てもらえそうです。



仮園舎園庭でかけっこ



2023年1月 完成イメージ

いきいきと過ごせる居場所を目指して

児童クラブフレンズうえの

伊賀市初の児童クラブフレンズうえのは開所25年目を迎えます。上野東小学校の校庭内にあり、主に1年生が恵まれた環境の中で活動しています。最近では、こま・けん玉・なわとびなどの伝承遊びに日々挑戦しています。子どもたちが、楽しいーやってみよう！「いきいきと過ごせるように、支援員同士が話し合い、協力しながら子どもたちを見守っていききたいと思います。」



上手く回せるかな

99歳の挑戦！

梨ノ木園俳句クラブ会員の野口 愛様(99歳)が「第七十五回芭蕉翁献詠俳句」で見事入選されました。

「ご本人にお気持ちを伺うと「まさかこの年になって賞をもらえるなんて思ってたので嬉しいです。これからも色々な句を作っていきたいです」と笑顔で話してくださいました。」

中秋の

月一入に

輝きて



野口 愛様(99歳)

『おめでとうございませう』

日本盲人社会福祉施設協議会主催の第69回全国盲人福祉施設大会において、上野点字図書館音訳ボランティアの西井けい子さんが奉仕活動者表彰を受賞されました。13年にわたるご奉仕に深く感謝申し上げますと、心からお祝い申し上げます。



ロート製薬株式会社「かるがも基金」より

「寄付をいただきました」

このたびロート製薬株式会社の「かるがも基金」より10回目となるご寄付をいただきました。今回は、録音室にエアコンを設置し、録音用マイク・点訳ソフト・郵送袋等図書製作や貸し出しに必要な備品を購入させていただきました。これらの設備や備品を活用し、視覚障害者の読書環境を整えてまいります。



録音室に設置されたエアコン CDレーベルプリンター他

令和3年度受賞者

全国社会福祉協議会会長表彰

花之木保育園・分園予野保育園
園長 島田恵美子

三重県知事表彰

特別養護老人ホーム第一梨ノ木園
副園長 藤岸 千秋

編集後記

今年度も新型コロナウイルスの蔓延状況が好転せず、その影響で社会も様変わりしてきました。在宅ワーク、ネットショッピング等で直接、顔を合わせる機会が減少し、会社や友人間の食事会等のコミュニケーションを図る機会もほぼなくなっています。

このような世の中に変貌してきましたが、やはり、人と人が会話をし「コミュニケーション」を取り、お互いの表情や細かなしぐさ等から、その人の思いを読み解いて、より良い支援を提供していくのが、我々福祉に携わる人間の一番大事な核でもあると思います。そして、こんな時だからこそ、「コミュニケーション能力を磨いていく努力を忘れないようにしたい」と思います。(編集子)

